

クラブ運営の基本方針

2021－2022年度

会 長 坂 倉 真 人

2021－2022年度国際ロータリークラブ会長シェカール・メータ氏は、「SERVE TO CHANGE LIVES」(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)をテーマに掲げ、ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは自分の人生の最高の行き方であると述べています。第2780地区の田島透ガバナーは、メータ会長の方針を踏まえ地区方針として4つの柱を挙げられております。「地域社会の変化とニーズを捉える。地域にインパクトを与える。様々な人々との出会いと繋がり。良い奉仕を実践するために積極的に行動します (Action)」であります。

今年で51年目を迎える横須賀西ロータリークラブでは、会員数14名と非常に小さな規模での活動となっておりますが、出席率、会員維持率の高さ、そして全員参加型のクラブ運営となっており、居心地の良さも含め地区No1のクラブと自負しております。昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、例会休会、奉仕活動を中止せざるを得ない状況が続きましたが、今年度はワクチンの普及にともない、世界中で経済活動、日常生活の始動が始まっており、国内でも同様なことが期待できる年と思います。まだまだ予断を許さない先行き不透明な状況下ではありますが、毎年7月末に行っている青少年奉仕委員会の春光学園ビーチパーティー、9月に行っている社会奉仕委員会の献血運動、11月には新型コロナウイルスの影響により中止となっていた50周年記念チャリティーコンサート、12月にはクリスマス家族会、3月には奉仕デーとして第1グループ全体での清掃活動の参加、早朝移動例会を含めた年5回の親睦ゴルフと旅行例会、年2回の夜間例会、そして国際大会への参加を実現できますよう、西ロータリークラブの再始動の年度としていきたいと思っております。

コロナ禍の中、苦境に立たされている多くの企業がある中で、奉仕活動を続けていくのは大変なことであると思っております。会員の皆様が無理をしなくても済むようにクラブの運営に尽力して参ります。日本を含め世界中の人々がコロナ以前の生活に戻ることは無いのだと考えられます。そのような中でオンラインを導入した会議等、新たな試みが始まり成功しているのも事実です。横須賀西ロータリークラブも時代の変化に対応できる力を持っております。難しい大変な時代になりましたが、会員の皆様が笑顔で楽しい活気あるクラブだと思って頂けますよう、一年間頑張っていきたいと思っておりますので、副会長、幹事及び各委員会の委員長、全ての会員の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【本年度目標】

1. 春光学園ビーチパーティー（長浜海岸）への参加。
2. 献血運動（衣笠駅前）。
3. 50周年記念チャリティーコンサート（大明寺）無事に開催できるように努める。
4. ロータリー奉仕デー（清掃活動）への参加。
5. 現在14名の退会防止と純増1名の確保（特に女性会員）
6. クラブ例会の充実（早朝・夜間移動例会）を図る。